

令和6年度第3回日進市立小中学校適正規模等検討委員会 議事録

日時 令和7年2月18日(火) 午後3時から午後4時まで
 場所 日進市立図書館 2階 大会議室
 出席者 三和義武、大谷聡、伊藤敏之、池田道則、森本理介、山内郁恵、
 中西憲介、磯村智子、志賀直仁、池田利勝、山村結加里、
 水藤芳枝(敬称略)
 欠席者 磯村忠佳、古山竜治
 事務局 岩田憲二(教育長)、伊東あゆみ(生涯学習部長)、伊藤泰裕(生涯学習
 部技監)、高柳秀史(学習政策課長)、河合一成(同課課長補佐)、
 海野享子(同課学習戦略係長)、加藤大輔(同課施設係長)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有 1名

- 次第
- 1 あいさつ
 - 2 これまでの振り返り
 前回会議までの内容について
 - 3 議題
 提言書(案)について
 (日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方策に
 ついて)
 - 4 その他

- 配付資料
- ・ 次第
 - ・ 資料1 提言書(案)
 - ・ 資料2 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針
 (令和2年1月改訂)
 - ・ 資料3 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方
 策について(中間報告)(令和6年11月)
 - ・ 資料4 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方
 策について(提言)(令和3年3月)
 - ・ 資料5 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方
 策について(提言)(令和4年3月)

発言者	発言内容
事務局	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>ただいまより、令和6年度第3回日進市立小中学校適正規模等検討委員会を開催します。</p> <p>本日の会議につきましては、磯村忠佳委員、古山竜治委員からご欠席の連絡をいただいております。</p>

	<p>本日の会議につきましては14人の委員のうち半数以上の出席がございますので、成立いたします。</p> <p>それでは次第の1「あいさつ」です。始めに、教育長の岩田憲二よりごあいさつ申し上げます。</p>
教育長	(あいさつ)
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委員長の三和先生からご挨拶をお願いいたします。</p>
委員長	(あいさつ)
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入る前に資料の確認をお願いいたします。</p> <p>事前に郵送した資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 提言書(案) ・ 資料2 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針(令和2年1月改訂) ・ 資料3 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方策について(中間報告)(令和6年11月) ・ 資料4 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方策について(提言)(令和3年3月) ・ 資料5 日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方策について(提言)(令和4年3月) <p>以上です。不足等ありましたら申し出ください。</p> <p>それでは、以後の議事進行は委員長をお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは議事の進行を引き継ぎます。委員の皆様には円滑な議事進行にご協力いただきますよう、お願いいたします。</p> <p>本委員会は傍聴が可能な会議となっておりますが、本日は傍聴希望者がありますか。</p>
事務局	1名の傍聴希望があります。
委員長	<p>本日は個人情報公開するに相当ではない事項はありません。</p> <p>議員の皆様のご同意を得て入室を許可したいと思います。よろしいですか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは傍聴者をお通しください。</p> <p>(傍聴者入室)</p> <p>傍聴の方は、傍聴のマナーをお守りいただきますようお願いいたします。</p> <p>では、まず次第2「これまでの振り返り」をしたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	(説明)
委員長	<p>ありがとうございました。 事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、次第3の議題に入ります 提言書(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)
委員長	<p>ありがとうございました。 事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>西小学校の建設場所について、提言書2ページに記載があります。②で「日進西中学校に近接する場所」が最もメリットが大きいと考えられる、とありますが、メリットに関する詳細な記載がありません。逆に、③懸念事項にはデメリットが多数挙げられているため、デメリットの方が多く印象を受けてしまいます。</p> <p>資料3の中間報告書6ページに記載があるように、日進西中学校と隣接させたことによるメリットが分かると、何故、この建設場所を選択したのか分かりやすいと思いますので、提言書の文章の中に記載した方が良いと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>中間報告書においては、日進西中学校と隣接させることによって、小中併設校に近い学習環境を作ることができることや、一部の施設や備品を共通で利用することで、建設費や維持管理費を削減できるというメリットを説明させていただいております。</p> <p>建て替え(移転)という手法についても、工事期間中の児童への影響が少ないことや、敷地面積が広がって、新たな教育環境及び対応が可能になること、成形された使いやすい土地になること、周辺道路や駐車場などの現状課題が解決できるなど、様々なメリットを挙げさせていただいております。</p> <p>ご指摘いただいたとおり、メリットの部分を提言書に書き加えていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>分かりやすくメリットを記載していただきたいと思っております。 その他、ご意見等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>新しく小学校を建設するにあたってのビジョンはあるのでしょうか。 この後どのような手順で進んでいくのかを教えてくださいたいです。</p>
事務局	<p>来年度に基本構想、基本計画を策定する予定です。その中で市民を交えたワークショップ等を取り入れながら、どのような学校にしていきたいかということの基本構想、基本計画に盛り込んでいきたいと考えてお</p>

	ります。基本構想、基本計画を策定した後に、設計に進むという流れになります。
委員長	ありがとうございます。 明確なプロセスを明示しておくのは重要なことだと思います その他、ご意見ありますでしょうか。
委員	2ページ、西小学校の建設場所に対して、私もかなりのメリットを感じております。 一番大事なのは子どもたちのメンタル面であると思います。学校が移動するということは、やはり大きな不安を感じるものです。そこへ、日進西中学校が隣接していることで、子どもたちは先々まで安心して通学することができますし、小学校のうちから、中学生と一緒に学ぶ喜びを感じることができます。いずれ通う中学校が隣にあるというだけで、気持ち安定するのではないかと思いますので、メリットは大きいと思います。
委員	私の子どもたちは、日進北中学校、香久山小学校へ通っています。香久山小学校の児童は中学校へ進学する際、まったく別の環境になりますが、一方で進学先の日進北中学校には、併設している竹の山小学校から進学した子もいます。 そのような環境において、やはり、別の場所である香久山小学校から来た子は少しアウェー感があり、不安、緊張もあると思います。 学校というのは様々な状況で良し悪しは色々あると思いますが、どちらかに偏ることがないように、誰にとってもメリットがあるようにしていただきたいと思います。些細なことが子どもたちの成長過程のうえでは大きなことである、ということの頭の片隅に思っただけだとありがたいです。
委員	岩崎台区は、同じ区の子どもでも、香久山小学校と竹の山小学校に分かれて進学します。児童数や様々な要因によって学区は調整されるものだと認識していますので、仕方ないことだと思いますが、子どもたちにとっては、そのような問題があるのだなと思って聞いていました。
委員	デメリットの話になりますが、移転候補地がハザードマップで浸水想定区域に指定されているということなので、かさ上げ等の対策をしっかりと行っていただきたいと思います。
事務局	水害対策はしっかりやっていきたいと考えています。なお、ハザードマップ上で見ますと、日進中学校や福祉会館、地域の公民館など、他にも避難所ですが浸水想定区域に建っている施設があります。現在、水害は早い段階で予測ができるので、浸水想定区域にある避難所は、実際の水害時には避難所として開設しないということになっています。地震の際に避難所として使うことになります。 対策としては盛り土をして、浸水に耐えられるよう建設していくこと

	を考えております。
委員	先ほどの、香久山小学校と竹の山小学校の児童の話を聞いている追加意見ですが、実際、日進北中学校の様子を見ていると、香久山小学校出身の子がとても活躍している場面があります。新しいところで頑張ろうという気概が見られます。逆に、竹の山小学校出身の子は慣れた環境で安定感がありますし、中学校に行ったら頑張ろうという気持ちを小学校のうちから持てるのもとても良いことです。 このように、やはりそれぞれに良いところがあると言えます。
委員長	その他、ご意見ありますか。
委員	赤池小学校について、増設をしたうえで、万が一現在の予想を超えたらどのような対応をするのでしょうか。また、その増えた児童が日進西中学校に通うことになり、最大29クラスの大規模校になります。そうすると生徒同士の関係、教師と生徒の関係性が薄くなるのが心配されますが、新たに中学校の分離新設等は検討されないのでしょうか。
事務局	確かに一部地域で児童生徒数が伸びていますが、その先、市内全体として子どもの数は減少する推計となっているため、新たな分離新設等は現時点では予定していません。
委員	地元の集まりでも、高齢化が進んでいることが話題になることが多い中、学校の教室を増やす相談をするという状況は素晴らしいと思う反面、地域差もありますし、雰囲気もだいぶ違うと感じています。
委員長	他にご意見ありますか。
委員	赤池小学校の児童から、「ものすごく歩いて日進西中学校へ行くくらいなら、赤池から電車に乗って私立中学校へ行く」という話を聞きました。昨今、暑さが異常なため、日傘や日焼け対策が許されているものの、確かにそう考えるのも一理あるなと思いました。 資料の中に、中学校の通学方法について、一部地域で自転車通学を認めるとあります。中学校の自転車可能地域は単純に距離で決まっているのでしょうか。
事務局	距離による判断となっています。 今より少し近い距離でも自転車通学が認められていた時もありましたが、本市の通学路の状況を含め、子どもたちの安全面を考えた上で、自転車通学は減ってきているのが現状です。
委員長	その他、ご意見ありますか。
委員	児童生徒、保護者の皆さんが通いたい、先生方もここで子どもたちに教えたいと思えるような、みんなのモチベーションがあがる学校になると良いと思います。そうすれば、今は不登校の子どもも、学校に通いたくなるような環境になるかもしれません。そのような学校ができれば良いと思います。
委員長	たくさんのご意見をありがとうございました。 それでは、提言内容については、委員からご指摘の観点を加えて修正

	<p>していきたいと思います。修正内容は、委員長へ一任と言うことでお願いしたいと思いますが、ご承認いただける方は挙手をお願いできますでしょうか。</p>
委員	(挙手全員)
委員長	<p>ありがとうございます。 承認多数ですので、承認といたします。 それでは、次第4「その他」について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>ご審議いただきありがとうございました。その他として1点報告があります。これまで国は小学校での35人学級を進めておりましたが、今後、中学校も35人学級を進める動きが出ています。愛知県においては、中学校1年生は既に35人学級となっていますが、2年生、3年生については未実施となっています。35人学級が実施されますと、普通教室数が増加することが想定されますので、改めて各中学校の適正化について検討が必要になる可能性があります。 その場合は必要に応じて、適正規模等検討委員会を開催し、ご審議いただきたいと思いますので、ご承知おきください。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 今の事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。 (意見なし) それでは本日予定した内容は終了しましたので、事務局へお返いたします。</p>
事務局	<p>三和委員長、円滑な議事進行ありがとうございました。 また、各委員のみなさま、貴重なご意見ありがとうございました。 それでは、本日の委員会での議論を踏まえまして、事務局にて提言書(案)を修正させていただきます。 修正した提言書(案)を三和委員長にご確認いただき、皆さんの意見が反映されていることを確認の上、教育長へ改めて手渡していただくこととします。 以上をもちまして、令和6年度第3回日進市立小中学校適正規模等検討委員会を閉会させていただきます。 大変お疲れ様でした。どうもありがとうございました。</p>